

理事長ごあいさつ



思い

社会福祉法人足羽福祉会

理事長 滝波博純

この度、当法人の機関誌「愛道」が百号を迎えました。当初は足羽学園「学園便り」として始まり、昭和五十四年から現在の「愛道」に引き継がれ、今日に至っています。

年に三〜四回の発行で三十有余年継続されてきました。私も途中からの奉職で最初のころの事は十五年記念誌を見たり、また、先輩の職員をはじめ、関係の方々から聞いて知った事も多いのですが、改めて綴られた全号を見てもみますと、大きな感動を覚えます。

利用者の方々や仲間の方たちの生活の様子、訓練への取り組みを通して成長していく喜びが伝わって来ますし、また、それをしっかり支え、進めた職員をはじめ、ご家族や地域の方やボランティアの方、および関係諸団体の協力と参加が多く述べられています。

そして、昭和五十年代後半に実施が続けられた「とばせ愛の風船」チャリティー「バザー」や「赤ちゃんからお年寄りまで」の福祉理念のもと、保育園・障害児者・高齢者と、順次、福祉施設の開設が進められたこと、また、全施設が一同に会して交流運動会や合同レクリエーションが始まり、現在も継続されていることなど、当法人と共

に社会の歴史として、充分に理解できる貴重なものとなっています。歴史の記録であり、何よりも、その根底にある「人間愛」を強く感じます。かかわるみんなが常に人の幸せを願い「共に生き、共に集う、光を求めて」の信念で取り組んでいる思いが「愛道」を通して読む方にも伝えている方にも、相互に表されていると思っています。

これからの世の中、社会の変遷と共に、私たちの生活環境も変わって来ることでしよう。しかし倫理と道徳の心を大事にして「大変住みよい地域で良かったね」と思える、社会実現のために、まい進します。「愛道」のご愛読とご理解ご協力を末永くよろしくお願いいたします。